令和6年度京都市中央卸売市場第一市場運営協議会 会議録

開催日:令和7年2月28日(金)午後1時~午後2時20分

開催場所:京都市中央卸売市場第一市場 関連12号棟2階 会議室

出席委員:合計15名(五十音順)

株式会社大水京都支社 執行役員支社長 浅田 佳史 京都青果物小売協同組合 理事長 石塚 清三 一般社団法人京都市中央卸売市場協会 会長 内田 隆

一般任団法人兄都中中央却冗巾易肠会 会長 內田 隆

(京都青果合同株式会社 代表取締役社長)

京都水産物小売団体連合会 会長 岡本 勲京都府農林水産部 副部長 荻 安彦

京都全魚類卸協同組合 理事長 勝村 一夫

立命館大学食マネジメント学部 教授 工藤 春代

京都市中央卸売市場関連事業者連合会 会長 澤田 利之

京都塩干魚卸協同組合 理事長 辻 泰三

京都中央市場青果卸売協同組合 理事長 中川 恵司

市民公募委員中川典子

京都大学 名誉教授 新山 陽子 京都中央綜合食品協同組合 理事長 原田 光佑

一般社団法人京都市地域女性連合会 理事 森本 静子

市民公募委員 吉田 富美

欠席委員:合計5名(五十音順)

大京魚類株式会社 代表取締役社長 上田 和成

京都野菜卸売協同組合 理事長 久世 明

市民公募委員 小森 理華子

全国農業協同組合連合会京都府本部 本部長 宅間 敏廣

新日本婦人の会京都府本部 副会長 澤田 季江

事 務 局:京都市中央卸売市場第一市場 場長 藤本 信和

京都市中央卸売市場第一市場 次長 坂根 正樹

京都市中央卸売市場第一市場 参事 古井 幸生

京都市中央卸売市場第一市場 参事 中迫 健

京都市中央卸売市場第一市場 参事 松村 憲司

京都市中央卸売市場第一市場 管理課長 奥村 成利

京都市中央卸売市場第一市場 計画推進課長 西田 兼治

京都市中央卸売市場第一市場 技術課長 西浦 靖

京都市中央卸売市場第一市場 業務課長 中村 周平

その他2名

議 題:1 会長の選任及び会長職務代理者の任命

2 「京都市中央卸売市場第一市場マスタープラン(平成28年度版)」の取組状況等について

3 令和7年度施設整備予定箇所について

質疑応答

1 会長の選任及び会長職務代理者の指名について

委員による互選により、新山陽子氏を会長に選任 新山会長から会長職務代理者(内田隆委員、勝村一夫委員)を指名

2 「京都市中央卸売市場第一市場マスタープラン(平成28年度版)」の取組状況等について (委員)

資料の体裁を見直したことにより、状況がよくわかった。ただ、取組の進捗状況について、着手の〇×評価ではなく、例えば、段階評価にしたほうが、次年度にどの取組に重点をおくべきかがわかるようになると思う。

(事務局)

多くの取組があるなかで、どの取組がより効果的なのかを分析し、次年度に どの取組に重点をおいて取り組むべきかをわかるようにしていくことは重要で あり、資料の構成については、検討する。

(委員)

発砲スチロールの廃棄量ゼロという目標について、リサイクルによる再資源 化は既に取り組んでいるとのことだが、この目標は設備の導入をもってゼロに するということなのか。

(事務局)

目標設定時の考え方は、リユースや減容する設備を導入し市場内で別の有価物とするなど、市場から廃棄物として排出される発泡スチロールをゼロにしようするものである。現状は、廃棄物処理業者に費用を支払ってリサイクルしているため、市場から出た廃棄物、という扱いになっている。

(委員)

あじわい館での取組について、料理教室や魚のさばき方教室などいろいろな 取組をされているが、過去に応募しようとしたら、予定人数に達していたため行 けなかったことがある。そのような取組の情報はどこで確認できるのか。どのよ うな形で情報発信されているのか教えてほしい。

(事務局)

主に市民しんぶんや新聞を中心に情報発信している。今後も来ていただきたい世代にしっかり情報が届くよう情報発信の方法を精査していく。

(委員)

京都市場の「食の陸援隊・海援隊」の会員に登録していただいたら、メールで 市場の情報が送られてくるため、より早く市場の情報が入る。

(委員)

資料中にアカモクの場内事業者向け勉強会や試食会などの取組がある。以前、スーパーで生のアカモクが売っていたが、調理方法がわからなかったため、買えなかった。消費者が調理方法などをしっかりわかっていれば買いやすくなると思う。

(事務局)

例えば、あじわい館では消費者向けに様々な食材の食べ方や作り方の料理教室を開催している。そういった情報を消費者に向けてしっかり発信していく。

(委員)

目標の一つである取扱金額の今後の方針について、具体的に何か取り組んでいることはあるのか。

(事務局)

京都市内での営業活動はもちろん、滋賀県では大型量販店が多くできており、 そこに京都市場の食材を取り扱ってもらえないかといったことを考えている。 スーパーの建設が決まった時点では、既に仕入先が決まっていることが多いた め、そういった情報をより早くつかなことが大事だと考えている。

また、コロナ前には、ホテル開業の事前情報を聞き、卸会社と開設者で実際にホテルの料理長をセリ場に招くなどしていた。今後も引き続きこのような取組を進めていく。

3 令和7年度施設整備予定箇所について

意見なし